拓殖大学 Takushoku University
図書館報
発行 2024.4 Vol.123
特集 図書館に行こう！　図書館を使おう!!

図書館を使おう

副学長 潜道（せんどう） 文子（あやこ）
（商学部教授）

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。

商学部経営学科の教員をしております、潜道文子と申します。CSR（企業の社会的責任）など、企業と社会との関係が専門で、ゼミナールでは SDGs を取り上げています。

皆さんは、大学で身に着けるべき能力はどのようなものだと考えていますか。私は、大学で最も重要な教育は「自発的な学習をしながら研究力を育成すること」ではないかと考えています。つまり、皆さんは大学での学びを通して「研究」という、調査しそこから新たな発見をするという能力を身に着けることが期待されています。図書館は、その能力育成を支援する機能を持っています。

実は私は、図書館がとても好きです。なぜ好きなのかというと、以前、住んだことのある米国コネチカット州 New Haven という街の Yale 大学図書館との出会いがあったからかと思います。

Yale 大学の図書館は建築物の側面からみてもとても美しく、伝統という揺るがない重厚さで人々を圧倒する素晴らしさがあります。近年は、下の写真に見るように、かなり近代化された図書館（The Day Missions Library at the Yale Divinity School ※1）もあり、それはそれで美しいですが、私が知っている Yale 大学の図書館（Sterling Memorial Library ※2）は、映画「ハリー・ポッター」に出てくる食堂のような雰囲気でした。まさに、アート作品のような貴重な場所です。静寂の中、そこで長時間、学生たちが熱心に勉強しているその雰囲気にただただ、感動していました。

また、私が現在住んでいる地域の図書館も素晴らしく、商工会議所と連携して起業講座を行ったり、映画上映会を開催したりしています。また子供向けには、絵本の読みきかせや本の選び方のアドバイスをしています。つまり、図書館は、何かに関心を持つ人々が必要な知識を得られる場なのだと思います。

さらに、私はチャンスがあれば他大学の図書館にも行ってみたりしていますが、近年は、ギリシャの円形劇場のような観客席を備えた図書館もあります。そこで講演者が観客とコミュニケーションしながらセミナーを行ったり、学生たちがプレゼンをしたりすることもあるようです。まさに、図書館が本などの貸出だけでなく、様々な知識や人との出会いを醸し出す場になっています。

このように、図書館は、単に本を借りたり、勉強したりする場所ではなく、学校の教室とは別の場所ではありますが、大切な知識を得たり新たな世界に出会ったりする場所と言えます。

そして図書館には、ありがたいことに、自分が知りたい情報や知識に導いてくれる、「図書館司書」という専門家の方々がいます。拓殖大学の図書館にも司書の方々がいて、皆さんの勉強や研究の手助けをしてくれますので、気軽に何でも聞いてみてください。

拓殖大学図書館には、資料を調べたり、本を読んだりする閲覧席が用意されています。文京キャンパスの閲覧席は、高級感のある落ち着いたスペースです。八王子国際キャンパスの閲覧席は、豊かな自然に包まれた特別な空間です。さらに、図書館というと、「話ができない、個人の勉強の場」というイメージですが、拓殖大学の図書館では、人数や学修の形に合わせ、自由に机や椅子を動かして使うこともできる「アクティブラーニングエリア」があります。他にも、「グループ学習室」があり、ゼミなどの授業で活用することができます。加えて、企業研究などに役立つデータベースも使用可能ですので、就職活動の時などには強い味方となってくれます。

他にも知っていると役立つ様々な機能を有する図書館を、いかに使い倒せるかが有意義な大学生生活を送るための重要なポイントになるのではないかと思いますので、まずは、図書館で何ができるかを確認してみてください。拓殖大学の図書館の活用が、これからの皆さんの人生をより豊かなものにすることを願っています。

※1：The Day Missions Library at the Yale Divinity School

※2：Sterling Memorial Library
Yale University

※掲載した写真は、権利者の許可のもとで使用しています。

図書館へ行ってみよう！使ってみよう！

新入生の皆さん、図書館へようこそ!

図書館には、皆さんの大学生活に役立つさまざまなフロアや機能が用意されています。
拓殖大学の図書館は、静かに学修する席だけでなく、会話をしながら学修できる席も用意しています！
自分に合った図書館での過ごし方、ぜひ探してくださいね。

閲覧席

文京B1フロア／八王子1Fフロア

文京図書館のB1フロア、八王子図書館の1Fフロアは、課題作成のためのディスカッションなど、グループや友人同士で会話をしながら学修を深めることのできるフロアです。大きく広いテーブルから個人用の席まで、さまざまな席の用意があり、明るく活気のある雰囲気のなか、賑やかにグループ学修に取り組むことができる環境になっています。もちろんひとりで利用するのもOK！ 静粛な環境よりも、少し賑やかな環境で学修したいという方はぜひこちらのフロアへ。

文京B1フロア

八王子1Fフロア

文京B2フロア／八王子2Fフロア

賑やかに利用ができる文京B1フロア、八王子1Fフロアとは一転して、こちらは静粛な環境のなか、一人で静かに学修・研究に取り組むことができるフロアです。個別に仕切られた席も多くあり、集中してそれぞれのやりたいことに取り組むことができる環境になっています。また、文京B2フロアは照明も少し暗く落ち着いた雰囲気となっており、八王子2Fフロアでは大きな窓からキャンパス内の木々が良く見える開放的な雰囲気が味わえます。

文京B2フロア

八王子2Fフロア

このように、図書館の閲覧席にはさまざまなタイプのフロアがあります。グループでコミュニケーションを取りながら活用したり、一人で集中して利用したり、それぞれ皆さんの利用目的にあった閲覧席が用意されています。ぜひ図書館を訪れてご自身にぴったりな使い方を見つけてください。

拓殖大学には、文京キャンパス・八王子国際キャンパスそれぞれに図書館があります。
今回は、図書館について館内の様子を写真付きでお伝えします！

アクティブラーニングエリア

文京、八王子の各図書館には「アクティブラーニングエリア」があります。グループワークやプレゼンテーションの練習など、皆さんが自由な形で学修できる場所です。文京図書館は視聴覚コーナーに近い「アクティブラーニングエリアA」と書架や新聞コーナーに近い「アクティブラーニングエリアB」という２つのエリアに分かれています。八王子図書館は1Fフロアの約1/3 のスペースが「アクティブラーニングエリア」になっています。

文京図書館の「アクティブラーニングエリアA」と八王子図書館の「アクティブラーニングエリア」は、机や椅子を自由に移動できるのが特徴です。大人数で作業がしたい、資料を広げながら話し合いがしたい、少人数で発表の練習がしたいなど、目的に合わせて机や椅子を使いやすい位置に動かして利用することができます。また、文京図書館の「アクティブラーニングエリアB」は、「ファミレス席」とも呼ばれています。このエリアの特徴は、ゆったり座れるソファー、高めの仕切りと広めのテーブルです。まるでファミレスにいるような感覚で利用できるので、グループでゆっくり話しながら学修に取り組みたい時などに最適です。

さらに、各アクティブラーニングエリアの近くには移動式のホワイトボードが設置されています。自由に使うことができますので、グループワークなどで皆さんで意見を出しあい共有したい時などにぜひ活用してください。

図書館と聞くと「静かにしなければならない」というイメージがあるかもしれませんが、文京図書館B1フロアと八王子図書館 1F フロアでは学修に関する会話が認められています！ 友人同士、ゼミの仲間同士で賑やかに話しながら学びを深めてください。

文京アクティブラーニングエリアA

文京アクティブラーニングエリアB

八王子アクティブラーニングエリア

グループ学習室

グループ学習室は、発表の練習、ゼミナール活動に使用することができる部屋です。周囲を気にせず、グループで集中して活動することができます。

グループ学習室の机や椅子は動かすことも可能で、どの部屋でもプロジェクターやホワイトボードを利用することができるので、使い方は自由自在！ ディスカッションや発表の練習などにぜひご利用ください。

また、グループ学習室では図書館やデータベースの使い方を説明するガイダンスを実施することもありますので、お気軽に参加してください。

グループ学習室を利用する際は、図書館サービスカウンターでのお申し込みが必要です。事前予約が可能で、空いていれば当日申し込むこともできますので、図書館サービスカウンターにお問い合わせください。

文京グループ学習室

八王子グループ学習室

図書館からのお知らせ

法律系データベース「TKCローライブラリー」を導入しました

法律系データベースとして、新たに「TKCローライブラリー」を利用できるようになりました。詳しい使い方など、スタッフまで気軽にお尋ねください！

図書館主催ガイダンスに参加してみよう！

図書館では、皆さんの学修に役立つガイダンスを実施しています。図書館の施設・設備のご案内からテーマに沿ったデータベースの使い方まで、学生生活に役立つ内容が盛りだくさん！

図書館主催ガイダンスは動画でも配信していますので、YouTubeを視聴できる環境であれば、いつでも・どこでもお好みのタイミングでチェックすることができます。

ガイダンスの最新情報は図書館ホームページの「図書館NEWS」や「ガイダンス動画」ページ、Takudai Portalの「お知らせ」に掲載しますので、ぜひチェックしてくださいね。

図書館スタッフコラム 1

皆さんがいつも利用しているサービスカウンターの向こうにも、図書館を活用してもらうために日々奮闘するスタッフがいます。図書館のバックヤードで働くスタッフは普段、利用者の皆さんと直接接する機会こそ少ないのですが、さて、いったいどんな仕事をしているのでしょう？

そこで今回は、主に本の収書・整理業務を担当している“図書グループ”の仕事について、Q&A形式でご紹介します。

Q 本の収書・整理ってどんな仕事？

A 本の購入手続き、蔵書検索システムのためのデータ整備など、図書館の棚に本を並べるための準備から、破損した本の補修まで多岐に渡り作業を行っています。

Q 収書・整理の仕事で感じる楽しさ、うれしいことは？

A 私たちは学生の皆さんより一足先に新着の本を手に取ることになるので、皆さんがどんな授業で使うのかな？ と想像しながら仕事をしています。本が棚に並ぶまでには多くの作業工程があり、入手が難しい本、データの整備方法に悩む本など、苦労することも。最新の本を数々扱うため、新しい技術や社会の動きなどに興味や関心が湧いてきたりすることもあります。毎日さまざまな本が目の前を過ぎていくので、興味が尽きません！
皆さんにもワクワクする本との出会いがあったらいいなと思います。

図書グループスタッフによるQ&A、いかがでしたでしょうか。
日々楽しみながら作業にあたる様子が伝われば幸いです。ぜひ図書館に来て、本を手に取ってください！

編集後記

以前は活気に満ちていた図書館ですが、コロナ禍により「三密の排除」が皆さんの心に深く刻まれてしまったのか、「図書館は座って静かに学修する場所」という意識が図書館全体を覆い、かつての活気を取り戻せずにいます。『以前のように図書館で「活発な協働学修」を展開してもらうにはどうすれば…？ そうだ、「会話が可能な場所」「静かに学修する場所」がはっきり分かれば使いやすいかも？』という仮説を立てて今号を作成しました。果たして仮説は当たっているでしょうか…？

それを確かめるため、ぜひ図書館にお越しください。スタッフ一同、お待ちしています!!

拓殖大学 図書館報 第 123 号 編集・発行 拓殖大学図書館

図 書 館
〒112-8585 文京区小日向 3-4-14
TEL 03（3947）7229

八王子図書館
〒193-0985 八王子市館町 815-1
TEL 042（665）1483

拓殖大学 Takushoku University
拓殖大学図書館 検索